



甲斐 幸博
(緑水会)



子どもの学びを豊かにしていく学校教育

◎ 三島市の学校教育で資質・能力を育成することが意識されてきたが、改めて三島市の教育の重点として、取り組んでいる内容を伺う。

▲ 「心の教育」を柱とし、教育活動全般を通して子どもたちの豊かな感性を育むようにしていることと、安全教育に焦点を当てた「命の教育」により「子ども自らが判断して自他の命を守ることができる」ようになることを、教育の重点として取り組んでいる。



データベースを活用した子どもの貧困対策

◎ 自治体が縦割り行政を解消して、情報を一元化し、学校、民間団体などと連携し、子どもの支援や見守りに活かすことをどう考えるか。

▲ 子どもの貧困の背景には、子どもや家庭を取り巻く様々な社会的要因がある。国が方針を打ち出した情報の一元化への取り組みは、外から気付きにくい家庭の問題等の早期発見に繋がるものと承知しており、引き続き国や県の動向を注視していく。

他の質問事項

三島市財政における公共施設保全の課題は



岡田 美喜子
(新未来21)



2050年カーボンニュートラルの取り組み

◎ 本市の脱炭素社会の実現を好機と捉え、経済と環境の好循環を図ることを目的に官民連携組織の立ち上げを検討できないか。

▲ 脱炭素社会実現のためには、市民・事業者・行政等が課題を共有し連携して対策を講じることが重要である。令和4年3月策定予定の第3次三島市環境基本計画に、2050年脱炭素社会の実現に向けた官民連携組織の立ち上げの検討について盛り込んでいく。

あかちゃんのへやの今後の取り組み

◎ 子育て世帯の外支援助として、店舗等の協力でおむつ替え等ができる場所が増えたが、三島駅周辺に不足している。対策と周知を伺う。

▲ 三島駅周辺のあかちゃんのへやは、公共施設や民間事業所等に複数設置しており、今後も三島駅東街区再開発エリアも含めて、親子連れが多く訪れる店舗等を中心に登録の呼びかけを行う。また、子育て世代に対して、SNS等を活用した情報発信を行っていく。



他の質問事項

社会人の学び直し「リカレント教育」の推進



河野 月江
(日本共産党議員団)



小中学校女子トイレに生理用品設置を

◎ 誰もが安心して学べる環境を整えるためにも、小中学校の女子トイレ個室に生理用品を設置することが必要と考えるがどうか。

▲ 児童生徒が、生理について保健室等で相談することや生理用品を受け取りに行くことに、抵抗感を抱いている可能性を考慮する必要がある。市教育委員会として、生理用品をトイレに置く必要性を認識しているため、財源や衛生面を含め、考えていく。



特別障害者手当のわかりやすい周知を求めて

◎ 障害者手帳がなくても受けられる特別障害者手当が、在宅介護を受ける該当者にも届くよう、制度の周知にどのような改善が可能か。

▲ 市ホームページや障がい者のしおりに掲載し周知を図っているが、より多くの方に周知するため、要介護認定者や高齢者に配布する高齢者サービス一覧への掲載や、三島市介護支援専門員連絡協議会における制度説明等、関係各課と連携し周知していく。

他の質問事項

無症状者向けPCR検査の対象拡大を求めて



石井 真人
(改革みしま)



64歳以下への今後のワクチン接種の方針

◎ 64歳以下へのワクチン接種について、接種対象者や市役所、企業、大学での職域接種について今後どのような方針で進めるのか。

▲ 64歳以下の接種券は6月下旬から年齢順に発送するが、基礎疾患がある方は、事前に申告していただければ先に接種券を送付する。また、職域接種は自治体接種に影響を与えないこととされており、医療従事者などの確保などから三島市役所としての実施は難しい。



身近な医療機関による個別接種の拡充を

◎ ワクチンの冷蔵保存期間の長期化により、かかりつけ医等の身近な医療機関での個別接種による接種場所の拡充はできないか。

▲ かかりつけ医などの各医院での個別接種については、三島市医師会と協議を進めている。各医院での接種が始まれば、さらに市民にとって便利になり、早期接種にもつながるので、早期の実現を目指していきたいと考えている。

他の質問事項

接種後の車と下校時の児童との交通事故対策



佐野 淳祥
(緑水会)



市内の各個店が儲かるためのスマート戦略を

◎ 再開発事業のにぎわい増幅装置は、まちなかリノベーション計画やスマートシティと連動させ「相互送客」で商業活性化できないか。

▲ にぎわい増幅装置として機能させていくための取組であるエリアマネジメントを推進していくうえで、まちなかリノベーション推進計画やスマートシティの推進との連動は大変重要であるため、十分な連携を図り、魅力向上のにぎわい創出につなげていきたい。



公共施設マネジメントでの箱根の里の将来

◎ 社会教育の貴重な野外拠点である箱根の里は、広域連携や大学ゼミ招致などによって持続可能な直営を考えるべきと思うが、どうか。

▲ 教育委員会による箱根の里の運営方針に関する諮問機関として、箱根の里運営協議会が位置づけられているので、本案を同協議会に諮り、その必要性が認められた場合には、大学のゼミ等による意見をいただくことも可能になるものと考えている。

他の質問事項

しやぎり練習会場の行政支援について



村田 耕一
(公明)



食品ロス削減のためのマッチングサービス

◎ 食品ロスを削減するため、事業者と消費者とのマッチングサービスを行う無料サイトの開設ができないか。

▲ 食品ロスを削減するためには、一般家庭に対する取り組みだけでは不十分であり、食品関連事業者に対する取り組みが必要不可欠と考えるため、両者をマッチングする取り組みについて、先進市の実施状況を調査し、費用対効果を考慮したうえで研究を行っていく。

小中学校体育館への空調設備の導入

◎ 学習環境の改善と災害時の避難所機能強化のため、国の緊急防災減災事業債を利用して、小中学校体育館に空調設備の導入が図れないか。

▲ 空調設備の導入については建替えを含め、体育館の断熱性の確保に要する経費なども考慮した検討が必要になるため、まずは令和3年度に発注する向山小と長伏小の改修実施設計業務委託の仕様、断熱性能の確保を取り入れていくことが可能か検討していく。



他の質問事項

県営光ヶ丘団地8棟跡地に高齢者福祉施設を